



ユスティヌス教会 フランクフルト



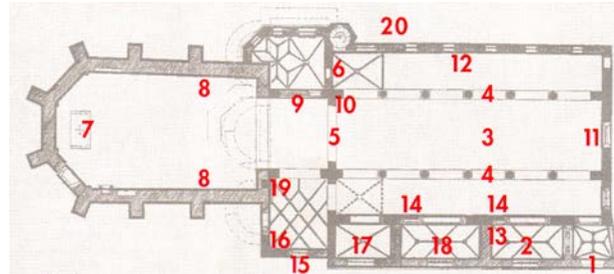
聖ユスティヌス教会は、850年にメイン川沿いに建てられた、ほぼすべての建物がオリジナルのかたちで残っているフランクフルトで最も古い、そしてドイツ国内でも歴史のある教会のひとつです。

830年に建築が始まり、850年に完成した時にはメインツ市の大司教、ラバヌス・マウルスによって奉献されました。この当時のメインツ市の大司教と言えば、宗教界のみならず、重要な地位にある人物でした。

フランクフルトのみならず、周辺の地域にとっても本教会は重要な役割を果たしてきました。例えば、メインツの司教会は、1024年に司教を集めて



の教会会議をここ聖ユスティヌス教会にて行いました。1090年には修道院そして教区教会としてメインツの聖アルバン教会のベネディクト僧たちが移ってきました。1298年には聖ユスティヌスの像がメインツの聖アルバン教会に移され、それ以降は教会のシンボルは聖マーガレットとなりました。1419年にはベネディクト僧たちがこの教会を離れ、1441年にはフランクフルト東に位置するハナウ市のそば、ロスドーフから、看護を専門とするアントニア会士がヘキストに移ってきました。1803年に教会が世俗化するまで活動を続けました。15世紀には、数回にわたり建物西側の改築と増築がなされました。壮大な自然光が入ってくる後期ゴシック様式のクワイヤが作られ、サイドチャペルも北側の側面に増築されました。この増築、および改築以来、本教会の様子はほぼ変わっておりません。



教会の北側入口から入る前に、二体の像（複製）が正面にあるのがご覧いただけます。左にテーベのポール、そして右側には僧侶の父アントニウス・エレミタです。（1）雨風の影響を受け、屋外での保存



が難しくなっているため、オリジナルの像は洗礼チャペルにて（2）展示しております。

正面入り口から教会内を見ていただきますと、カロリング王朝時代のバジリカスタイルの本教会は印象的なロングハウス（3）です。もともとの平面図ではクワイヤは描かれておらず、計画に入っていなかったと思われます。戦士やコリント式柱頭の柱状アーケード（4）は9世紀の重要な彫刻と言われております。

15世紀には色彩豊かに内装を色づけました。未だに残っている色彩は凱旋門の上にある救世主であるキリストの絵（5）です。また、十字架にはりつけにされたキリストの絵も残っていますが、説教壇（10）の隣にある後光がさしている聖母（6）のある祭壇によって隠れているため見ることはできません。

洗礼チャペルにはオリジナルのアントニウスとポールの像が壁にあり、後期ゴシックの洗礼用フォント（2）があります。このフォントは本教会の動かせる展示品の中で一番古いもので、11世紀の3匹のライオンによって支えられています。側面の壁には、大変保存状態よく色彩も残っているハインリッヒ・メイヤースバッハ（13）の墓石があります（1520年）。彼はヘキスト、アントニア修道院の高僧でした。

教会建物北袖廊、チャペルの間の壁には、16世紀の二つの碑文があります。右側、洗礼チャペルの隣にはライフェンベルグのフィリップとマーガレット（14）その隣が、カノンであったコンラード・ホフマンの墓板（14）、教会側面の入り口（15）を入り、北側祭壇の本教会最古の墓石（16）はシュワンハイムのハインリッヒ・フェッティング（1457年）のものです。



東側に位置する側面チャペルには本教会の大変重要な芸術作品があります。1485年制作の木製等身大座像で、オリジナルの色彩も残っている、アントニウス・エレミタの像(17)とアントニタ会士が所有していたオットニア朝時代の十字架像(17)です。木製坐像は世界的

のホルマーにあるイーゼンハイム祭壇の15世紀の聖者をかたどったモデルになったと言われ、その地方のアントニタ会士が造ったと言われています。

中央チャペル(18)ゴシック様式の十字架祭壇は、バロック様式の側面祭壇と違い、もともと本教会のために建造された施設です。1485年ヴォルムス市(フランクフルトより60km北東に位置する都市)にて彩色された教区祭壇です。もともとはレットナー(説教壇の高さにあるクワイヤと廊の間にある普通は石でできた壁)が修道院と教会を隔てていました。中央にはジーザス十字架像が表されており、四枚の窓の下壁には十字架伝説が描かれています。この十字架は、皇后ヘレナによって発見されたとき、この十字架がペルシャ人によって強奪された後、皇帝ヘラキロスによりエルサレムに戻された時のように描いたものです。プレデラ(祭壇上にあるエナメル板でできたついたて状のもの)にはキリストと12人の使徒が描かれています。窓下の壁には十字架降下が描かれています。

南側廊、窓の間には後期バロック様式、ボロンガロパレス初期チャペルにあった聖人像(12)が飾られています。

ロングハウスとゴシック式のクワイヤから先を見つめると、ヨハネス・ヴィース(1726年)によるバロック様式の高祭壇(7)が目を見張ります。この高祭壇は、リンブルグ州のローマカトリック教区

内で重要な一つに位置付けられています。祭壇の像はどれもクオリティーの高いものです。祭壇左手には聖人ジョセフと幼イエスが、右手には教師でもあった聖人アウグスティヌス、その下、照り付ける太陽のもと、本教会の守護神である聖人マーガレット、彼女は14人の救護人のひとりでもありました。伝説によると、ある晩、彼女が牢にいと、龍が来て、彼女を飲み込もうとしましたが、彼女は十字架を使って龍を追い払ったと伝えられています。彼女は305年、彼女の信仰のため、公共の場で、処刑をされました。祭壇の絵は、イエスの十字架像です。その上、アントニタ紋章には、T字型のアントニタ十字架と、1812年皇帝講壇(10)が見られます。これは本教会の中で、唯一ここへキストで製作されたものです。

聖具室、元々は初期の聖十字チャペル、には素晴らしい要石(キーストーン)を用いたアーチ型天井、穹窿(きゅうりゅう)を見ることができます。

クワイヤのオーク製の椅子(8)は15世紀半ばのもので、1986年に新調されました。オリジナルの側面壁はアントニタの聖人たちがレリーフとなっております。聖アントニウス・エレミタと聖パウロが伝説のヤシの葉と異なり、オークの葉を身にまとっています。



クワイヤを背に身廊に向かうと、大きなバロック様式の壁十字架(9)を見ることができます。

ラインガウの旧ゴッテスタール修道院(オエストリッヒ近く)からのバロック様式の側祭壇はマリアに捧られたものです。北

側祭壇室には悲しみにむせぶ聖母、ピエタ(19)像が、そして、南側には背後から後光がさしているマドンナ像(6)を見ることができます。

見事なオルガン(11)は、マインツにあるオルガン製作所オニムスで1740年に作成されたものです。

1988年、チューリッヒ近く、メネドルフのオルガン製作所クーンが、バロック式製法で昔のボディエーを使い、最高のコンサート音響で新しいオルガンを再築いたしました。そのため、本教会は世界中のソロオルガン奏者から、貴重なオルガン音楽界の中心地とも言われています。

Die Stiftergemeinschaft Justinuskirche e. V. - Eine Initiative von Bürgern

1983 wurde die Stiftergemeinschaft Justinuskirche e.V. auf Initiative von Erhard Bouillon, damals Vorstandsmittglied und Arbeitsdirektor der Hoechst AG, gegründet. Ziel war es, das öffentliche Interesse an der Justinuskirche zu verstärken und Geldmittel für die Restaurierung und dauerhafte Erhaltung der Kirche zu beschaffen. Einbezogen wurden von Anfang an alle, denen die Justinuskirche am Herzen liegt, neben der Pfarrgemeinde St. Josef (der Eigentümerin der Justinuskirche) das Bistum Limburg, Bürger und Vereine, Firmen und Institutionen, die Stadt Frankfurt, das Land Hessen und der Bund.

Zwischen 1983 und 1988 erfolgte dann eine umfassende Restaurierung der Justinuskirche und ihrer Ausstattung. Seither werden kontinuierlich die verbliebenen oder neu aufgetretenen Schäden angegangen. So wurde beispielsweise 2009 eine komplette Dachsanierung durchgeführt und eine gefährliche Verstopfung des Abflusses der tief unter der Justinuskirche entspringenden Quelle behoben.

Für diese Aufgaben benötigt der Verein das Engagement vieler Einzelpersonen, Gruppen, Geschäfte und Institutionen. Die Möglichkeiten zur Unterstützung sind vielfältig. Bitte sprechen Sie uns an.

インターネット

www.justinuskirche.de

Stiftergemeinschaft Justinuskirche e.V.

Justinusplatz 2-4

65929 Frankfurt am Main

E-Mail: kontakt@justinuskirche.de

Stand April 2017, Übersetzt von Akiko Rath